

建物ドラマにはまる

甘い物好き／東部ブロック

「名建築で昼食を」というドラマをご存知でしょうか。主人公のOL春野藤が『乙女建築』巡りが趣味という中年の建築模型士植草千明に出会い、弟子入りします。毎回二人で名建築を巡り、その後併設のレストランやカフェで昼食やお茶をするストーリーで2020年8月に放送されました。登場する建物や藤と千明のアドリブを交えた建物巡りに惹き込まれ毎週とても楽しみに観ていました。

ドラマの原案となったのは富士宮市出身の甲斐みのりさんの著書「歩いて、食べる 東京のおいしい名建築さんぽ」です。このドラマがきっかけで甲斐さんを知りましたが、文筆家の甲斐さんの執筆ジャンルは旅、散歩、お菓子、地元パン、手みやげ、建築等と私が大好きなものばかり。建物巡りが趣味で大の甘党の私はすぐにファンになりました。



6月に近くで甲斐さんのトークショーがあるという情報を入手してすぐに応募しました。多くの応募があったそうで抽選に見事当選して参加することができました。初めてご本人と対面し、一緒に写真を撮ったり、サイン入り本を購入したり楽しい時間を過ごしました。

知らないことを知れるのが楽しくて生きがいで、好きな物や好きな言葉を書く『好きノート』をつけていると話すと甲斐さんは聞いている私にも楽しさが伝わってくるほど、きらきら輝いて見えました。和菓子についてのトークショーでしたので、甲斐さんが好きな静岡県内のお菓子の話になり、ジャムを挟んだカステラ生地をクッキーで巻いたケーキやシューロールなど店名こそ出ませんが、東部地域の方ならよく知るお菓子だと思います。

ドラマに出てきてまだ行ったことのなかった東京都庭園美術館に出掛けました。建物が見終わると、ドラマに影響されている私は併設のカフェで藤と千明が食べていたグラタンを注文し、緑豊かな庭園を眺めながら食後にケーキも食べました。「名建築で昼食を」は東京編に続き、大阪編、スペシャルで横浜編もあります。

「星の王子様」と「天空の城ラピュタ」

終わらない夢／中部ブロック

♪♪あの地平線・・・輝くのは・・・どこかに君を隠しているから♪♪たくさんの灯が・・・懐かしいのは・・・あのどれかひとつに君がいるから・・・♪♪



宮崎駿監督の映画「天空の城ラピュタ」の主題歌"君をのせて"は宮崎駿自らの作詞です。彼は、あの有名な「星の王子様」という作品を書いた作家サン＝テグジュペリを崇拝し、飛行機も大好き。

「星の王子様」読んだことありますか？名前は知っているけれど、子供向けのお話だから、ちゃんと読んだことがない??サン＝テグジュペリは実はフランスの飛行機乗りでした。飛行機が大好きで、飛行機にまつわる本などを書いて、作家としても活躍しました。「星の王子様」はその中のひとつです。

「星の王子様」の主人公は、操縦していた飛行機でサハラ砂漠に不時着します。誰もいないはずの砂漠に突然現れた少年から声をかけられます。

その少年こそが自分の星から逃げてきた「星の王子様」です。二人は喉が渇いて井戸を探します。『砂漠が美しいのは、どこかに井戸を隠しているからだよ』と星の王子様が言いました。ラピュタの歌詞はここからきているそうです。



さて、物語の冒頭には「大人は誰も初めは子供だった」とあります。そう！忘れてしまったこの事実。そうなのです。あなたも私も、はじめは子供だったのですよ！いつの間にか大人になって、見えないものや聞こえないものばかりになってしまいましたねえ。せめて、お話を読んで少し思い出しませんか？

「星の王子様」が自分の星を出て、いくつもの星を回り、最後に降り立った地球でへびに会い、たくさんのバラを見ます。自分の星には1本しかなかったバラがこんなにたくさん。次にキツネに会います。キツネと仲良くするために、たくさんの中の「特別」な存在に気づき、キツネから「大切なものは目に見えない」と教わります。もっと読みたくなつたでしょう！夜空の星を見上げて、そのどれかにいる星の王子様の笑顔を考えてとき、あなたも笑顔になれるかもしれませんヨ